

第1日目 平成28年7月1日（金）

9:10 受付開始

9:10～9:40 ポスター設置タイム

9:40～9:45 開会の辞：年会長 三木昭宏（大阪府警・科捜研）

9:45～10:25 一般講演①〈生体試料中薬物—抽出法の確立と活用〉

座長 斉藤 剛（東海大・救命救急）

O-01

SPE を用いた血中薬物の抽出法の比較・検討

○竹内弥加（北海道警・科捜研）

O-02

生体試料中の薬毒物分析における前処理操作としての固相分散抽出法の有用性

○斉藤貢一、伊藤里恵（星薬大・薬品分析化学）

O-03

マウスを用いた合成カンナビノイド JWH-018 および AM-2201 の胆汁排泄の評価

○久恒一晃^{1,2}、財津 桂²、林 由美³、瀧 健太郎²、浅野友美²、石場 厚¹、肥田宗政¹、草野麻衣子²、土橋 均²、石井 晃²

（¹愛知県警・科捜研、²名古屋大院・法医生命倫理学、³名古屋大院・病態解析学）

10:30～11:10 一般講演②〈生体試料中薬物—新しい分析技術〉

座長 志摩典明（大阪府警・科捜研）

O-04

探針エレクトロスプレーイオン化法を用いた臓器中危険ドラッグの迅速分析

○臼井聖尊¹、村田 匡²、林崎義映¹、舟山真人¹（¹東北大・法医、²島津製作所）

O-05

In-source CID を用いた LC-TOF-MS による生体試料からの危険ドラッグ分析

○春田祐輔、大槻光彦、森田 敦、内川貴志（佐賀県警・科捜研）

O-06

In silico による LC/MS を用いた血中薬物スクリーニング法の構築

○坂 幹樹¹、中園裕紀子²、工藤恵子³、箕畑俊和⁴、兼城昌敏²、平野一郎⁴、古田一匡²、藤井祐介¹、槇野陽介¹、池田典昭³、岩瀬博太郎^{1,5}

（¹東京大・法医、²富士通株、³九州大院・法医、⁴島津製作所、⁵千葉大・法医）

11:15～11:55 一般講演③〈新規乱用薬物—スクリーニング法及び分析法の確立と活用〉

座長 辻川健治（科警研）

O-07

簡易薬物スクリーニングキットを用いた危険ドラッグ成分の識別法の検討（4）

○内山奈穂子、花尻（木倉）瑠理、袴塚高志（国立衛研）

O-08

LC-IMS-Q-TOF-MS を用いた生体試料中危険ドラッグ成分のスクリーニングおよび定量分析

○河村麻衣子¹、花尻（木倉）瑠理¹、前橋恭子²、岩楯公晴²、袴塚高志¹

（¹国立衛研、²慈恵医大）

O-09

4種カチノン系化合物による中毒死例：リニアイオントラップ LC-MS-MS による血中 4-F-methcathinone, 4-F- α -PVP, 4-MeO- α -PVP, PV8 の同時定性・定量分析

○望月 聡¹、猩々英紀²、安達 登²（¹山梨県警・科捜研、²山梨大・法医）

12:00~13:00 ランチョンセミナー① 主催 日本ウォーターズ(株)
12:00~13:00 ランチョンセミナー② 主催 アジレント・テクノロジー(株)
13:10~13:50 総会、吉村賞表彰式
13:55~14:55 ポスターセッション (奇数番号)

15:00~15:40 一般講演④ 〈新規乱用薬物/代謝物の異性体—合成と分析〉
座長 地中 啓 (石川県警・科捜研)

O-10

α -PVP 及び α -PHPP のケトン還元体代謝物のジアステレオ選択的合成

○辻川健治¹、牧田誠二²、東林修平²、瀬川尋貴¹、山室匡史¹、桑山健次¹、金森達之¹、岩田祐子¹、井上博之¹ (¹科警研、²分子科学研)

O-11

GC-MS/MSによるJWH-018尿中代謝物の水酸基位置決定法の構築

○草野麻衣子¹、財津 桂²、久恒一晃^{1,2}、浅野友美¹、瀧 健太郎¹、林 由美³、土橋 均¹、石井 晃¹ (¹名古屋大・法医、²愛知県警・科捜研、³名古屋大・病態解析学)

O-12

ハーブ製品に含まれる合成カンナビノイド5F-AB-PINACAおよび5F-AMBの光学分離について

○土井崇広、浅田安紀子、武田章弘、田上貴臣、沢辺善之 (大阪府公衛研)

15:40~16:40 特別講演 座長 片木宗弘 (大阪府警・科捜研)

100件の自動車事故で検出された様々な薬物とその薬理
金子周司 (京都大院・生体機能解析学)

16:45~17:25 一般講演⑤ 〈新規乱用薬物—活性評価〉
座長 沼澤 聡 (昭和大・毒物学)

O-13

最近の東京都知事指定薬物の化学分析データ及びBinding assayによる活性評価事例

○中嶋順一¹、鈴木 仁¹、坂本美穂¹、高橋美佐子¹、鈴木淳子¹、齋藤友里¹、植村望美¹、清水聖子¹、内本勝也¹、小林一絵¹、長嶋真知子¹、清水雅子¹、浦出朋子¹、石原 恵²、宇佐美 孝²、亀井 学²、渡辺大介²、河野安昭²、草野麻衣子³、財津 桂³、石井 晃³、守安貴子¹、保坂三継¹
(¹東京都健安研セ、²東京都薬務課、³名古屋大・法医)

O-14

危険ドラッグ成分のAequorin/GPCRs cell-based Ca²⁺ functional assayを用いたセロトニン受容体活性評価

○曾我慶介、河村麻衣子、蜂須賀暁子、最上 (西巻) 知子、花尻 (木倉) 瑠理 (国立衛研)

O-15

合成カンナビノイドの生体影響と既存乱用薬物との相違:メタボロミクスによる解析

○李 任時¹、石井祐次¹、武田知起¹、森元 聡²、山田英之¹
(¹九州大院・分子衛生薬学、²九州大院・生薬学)

17:25~17:40 追悼講演 座長 石井 晃 (名古屋大院・法医生命倫理学)

追悼 九州大学 山田英之教授: 40年の足跡
石井祐次 (九州大院・分子衛生薬学)

18:10~20:10 懇親会 (会場: シティプラザ大阪)

第2日目 平成28年7月2日（土）

9:10 受付開始

9:30～10:10 一般講演⑥〈生体試料中薬物—安定性と死後再分布〉

座長 岩田祐子（科警研）

O-16

全血及び血清中のケタミン安定性

○斉藤 剛¹、奈女良 昭²、大澤資樹³、猪口貞樹¹

（¹東海大・救命救急、²広島大・法医、³東海大・法医）

O-17

フェネチルアミン系化合物25B-NBOMeの死後再分布に関する実験的検討

○新谷 香¹、坂 幹樹²、吉田謙一³、池谷 博¹

（¹京府医大・法医、²東京大・法医、³東医大・法医）

O-18

解剖事例におけるメタンフェタミンとアンフェタミンの臓器・体液での再分布の検討

○長谷川弘太郎¹、阿民勿日他²、南方かよ子¹、権守邦夫¹、野澤秀樹¹、山岸 格¹、鈴木 修³、渡部加奈子¹（¹浜松医大・法医、²内蒙古医大・法医、³浜松医大）

10:10～11:05 一般講演⑦〈剖検試料の分析と死因の究明〉

座長 工藤恵子（九州大院・医）

長谷川正紀（島根県警・科捜研）

O-19

7-ヒドロキシゾルピデムの合成及び剖検で得られた胆汁からの検出

○山口晃志¹、普神敬悟²、石川慎吾²、大野曜吉¹（¹日医大・法医、²東医大・化学）

O-20

クロルフェナピル中毒の一剖検例

○福家千昭、川上由香、深沢真希、二宮賢司、宮崎哲次（琉球大院・法医）

O-21

急性心臓死の原因としての降圧剤服用履歴確認の必要性

○小野寺 誠、藤田友嗣、佐藤正幸、菊池 哲、藤野靖久、井上義博

（岩手医大・高度救命救急セ）

O-22

中毒関連死亡事例における腎障害評価法の検討

○石田季子、吉澤秀憲、中間健太郎、片田竜一、高橋真樹子、望月 薫、杉本香奈、松本博志（大阪大・法医）

11:10～12:10 ポスターセッション（偶数番号）

12:15～13:15 ランチョンセミナー③

主催 ㈱島津製作所

12:15～13:15 ランチョンセミナー④

主催 バイオタージ・ジャパン㈱

13:15～13:25 休憩、ポスター撤去タイム

13:25～13:50 吉村賞受賞講演

座長 井上博之（科警研）

乱用薬物の迅速分析法の開発と体内動態の解析

桑山健次（科警研）

13:55~14:50 一般講演⑧〈毒性物質—分析と毒性発現機構の検討〉

座長 奈女良 昭 (広島大院・法医)
鎌田 徹 (大阪府警・科捜研)

O-23

GABA_AR阻害型セスキテルペン系痙攣神経毒の分析

○太田彦人¹、渡邊大助¹、佐藤常寿² (1科警研、²福島大・共生システム理工)

O-24

フッ素再活性化大量注入GC-MSによる血液中神経ガスアダクトの高感度検出

○瀬戸康雄¹、金森美江子¹、駒野明香¹、名児耶友樹¹、大森 毅¹、柘 浩一郎¹、大類保彦¹、佐々野僚一²、松尾俊介²、内田 滋² (1科警研、²㈱アイスティサイエンス)

O-25

LC-MS/MS を用いた生体試料中からのマスタードガス分解物の分析

○柘 浩一郎、大森 毅、大類保彦、瀬戸康雄 (科警研)

O-26

パラコートの呼吸器系細胞への取り込みと細胞感受性の検討

○菅野さな枝¹、平野靖史郎²、鷺 盛久¹、千葉正悦¹、井川 亨¹、向井敏二¹
(¹聖マリアンナ医大・法医、²国立環境研)

14:55~16:00 一般講演⑨〈薬毒物の分析法の開発研究〉

座長 財津 桂 (名古屋大院・法医生命倫理学)
中嶋順一 (東京都健安研セ)

O-27

血液中アジ化物、シアン化物の HS-GC・NPD による同時分析

○和泉 要、阿弥曜平、前田典秀、上田啓太、山本彰一 (和歌山県警・科捜研)

O-28

シバガス(SIVAGUS)の分析

○飯田英己、黒澤英俊、宮元礼生奈、滝口貴広、伊澤秀二郎、工藤雅孝
(警視庁・科捜研)

O-29

含フッ素ポルフィリン試薬を用いたリチウムの検出

○藤田友嗣^{1,2}、鈴木裕子³、新津ひさえ⁴、出羽厚二⁴、小野寺 誠¹、藤野靖久¹、菊池 哲¹、井上義博¹ (1岩手医大・救急、²岩手医大・薬毒、³メタロジェニクス、⁴岩手医大・法医)

O-30

超臨界流体クロマトグラフィーによる危険ドラッグの新規分析法

○伊澤秀二郎、宮元礼生奈、黒澤英俊、滝口貴広、飯田英己、工藤雅孝
(警視庁・科捜研)

O-31

キャピラリー電気泳動/質量分析法による筋弛緩剤rocuroniumおよび筋弛緩回復剤sugammadexの分析

○岩室嘉晃¹、村上貴哉¹、石丸麗子¹、地中 啓¹、高山成明²
(1石川県警・科捜研、²金沢市薬剤師会)

16:00~16:10 閉会の辞：次期年会長 花尻 (木倉) 瑠理 (国立衛研)

ポスターセッション

ポスター設置タイム	7月1日（金）9:10 ～ 9:40
ポスター掲示期間	7月1日（金）9:40 ～ 7月2日（土）13:15
ポスター発表時間（質疑応答）	
奇数番号の演題	7月1日（金）13:55 ～ 14:55
偶数番号の演題	7月2日（土）11:10 ～ 12:10
ポスター撤去タイム	7月2日（土）13:15 ～ 13:25

P-01

ベゲタミン成分を含む複合薬物中毒18事例

○高安達典¹、山本寛記²、石田裕子²、野坂みずほ²、川口真理子²、國中由美²、木村章彦²、近藤稔和²（¹金沢大、²和歌山医大）

P-02

カフェインが高濃度に検出された法医剖検例

○前橋恭子、立松依宙、岩楯公晴（慈恵医大・法医）

P-03

ノルマルヘキサンを吸引し死亡した一剖検例

○星岡佑美¹、安部寛子¹、副島美貴子²、矢島大介¹、永澤明佳¹、奈良明奈¹、岩瀬博太郎^{1,3}
（¹千葉大・法医、²久留米大・法医、³東大・法医）

P-04

蘇生後脳症で16日間経過してブタン吸引を証明し得た一例

○佐藤貴子¹、西岡 裕²、坪井健人¹、片木宗弘²、三木昭宏²、土橋 均³、鈴木廣一¹
（¹大阪医大・法医、²大阪府警・科捜研、³名古屋大・法医）

P-05

ブタンガス乱用による中毒死の4例におけるブタンの組織分布

○奥田勝博、間瀬田千香暁、浅利 優、山田ひろみ、塩野 寛、清水恵子
（旭川医大・法医）

P-06

薬物中毒の診断プロセスの検討

○松本博志、石田季子、吉澤秀憲、中間健太郎、片田竜一、高橋真樹子、望月 薫、杉本香奈
（大阪大・法医）

P-07

全血薬物抽出用MonoSpin C18-CXの開発と事例への適用

○奈女良 昭¹、斉藤 剛²、太田茂徳³、及川博史³、宮崎将太³、中本晃弘⁴、河村真帆⁴、長尾正崇¹（¹広島大院・法医、²東海大・救命救急、³ジーエルサイエンス(株)、⁴広島県警・科捜研）

P-08

覚せい剤とコカインの骨中濃度の比較

○中尾賢一朗、多々良有紀、木林和彦（東女医大・法医）

P-09

UPLC-MS-MSを用いたbatrachotoxin, bufotenine, epibatidine血漿中濃度の同時定量

○白石洋輔^{1,2}、小川匡之¹、鈴木隆佳¹、岩井雅枝¹、草野麻衣子³、財津 桂³、石井 晃³、妹尾洋¹（¹愛知医大・法医、²藤田保健衛生大病院・薬剤部、³名古屋大院・法医生命倫理学）

P-10

p型およびn型半導体 ZnO ナノ粒子の毒性評価

- 藤原純子¹、藤田恭久²、安田年博³、長谷川正紀⁴、竹下治男¹
(¹島根大・法医、²島根大・総合理工、³福井大・病態遺伝生化学、⁴島根県警・科捜研)

P-11

α -Pyrrolidinononanophenone 誘発神経細胞毒性における活性酸素と小胞体ストレスの関与

- 松永俊之¹、森川嘉文²、鎌田恭介¹、谷川水規¹、笹島康秀²、末次耕一²、佐藤清人²、竹腰裕二²、五十里 彰¹ (¹岐阜薬大・生化学、²岐阜県警・科捜研)

P-12

シブトラミンによる血管内皮細胞傷害における一酸化窒素の意義

- 森川嘉文¹、笹島康秀¹、末次耕一¹、佐藤清人¹、竹腰裕二¹、柴田明信²、五十里 彰²、松永俊之² (¹岐阜県警・科捜研、²岐阜薬大・生化学)

P-13

合成カンナビノイド類の生体試料からの検出例とその構造特性

- 掛橋秀直、志摩典明、和田 美暁、鎌田寛恵、鎌田 徹、三木昭宏、片木宗弘
(大阪府警・科捜研)

P-14

吸入曝露による合成カンナビノイドの毒性評価

- 光本 (貝崎) 明日香、篠岡恭子、沼澤 聡 (昭和大・毒物学)

P-15

精神依存性に対する合成カンナビノイドと合成カチノンの併用効果

- 篠岡恭子、光本 (貝崎) 明日香、沼澤 聡 (昭和大・毒物学)

P-16

海外流通が確認されたアミド型合成カンナビノイド薬物のCB1/CB2受容体に対する受容体機能評価

- 浅田安紀子、土井崇広、田上貴臣、武田章弘、梶月由香、川口正美、中村暁彦、沢辺善之
(大阪府公衛研)

P-17

危険ドラッグ成分 AB-CHMINACA における代謝物活性の評価

- 古川諒一^{1,2}、曾田 翠¹、神山恵理奈²、多田裕之²、筑本貴郎²、伊藤哲朗²、船田正彦³、北市清幸¹ (¹岐阜薬大・薬物動態、²岐阜県保環研・生活科学部、³国立精神・神経医療研究セ・薬物依存研究部)

P-18

危険ドラッグ成分による尿中覚醒剤簡易試験キットの偽陽性反応に関する検討

- 家宇治 啓 (四国麻取)

P-19

電荷移動相互作用に基づく発色反応を利用するピペリジニウム化合物の検知管の開発

- 黒田直敬、新藤敬悟、岸川直哉 (長崎大院・医歯薬)

P-20

トリプタミン系薬物の構造代謝相関

- 山下琢矢¹、宮本和奈¹、辻川健治²、岩田祐子²、井上博之²、糟谷史代¹
(¹神院大・薬、²科警研)

P-21

危険ドラッグ分析における¹⁹F NMRの利用法について

○立入直紀、渡邊摩美、畠山周作、佐々岡沙羅、齋藤弘一（宮城県警・科捜研）

P-22

ionRocket DART-MSを用いた血液試料中薬物分析手法の検討

安部寛子¹、○竹井千香子²、志田保夫²、坂倉幹始³、塩田晃久³、須賀香屋子⁴、矢島大介¹、岩瀬博太郎^{1,5}

（¹千葉大・法医、²バイオクロマト、³AMR、⁴エービー・サイエックス、⁵東京大・法医）

P-23

アンジオテンシンII受容体拮抗薬のLC-MS/MSスクリーニング分析法

藤田友嗣^{1,2}、○新津ひさえ³、出羽厚二³、小野寺 誠¹、藤野靖久¹、菊池 哲¹、井上義博¹、星大海⁴、箕畑俊和⁴、土橋 均^{4,5}（¹岩手医大・救急、²岩手医大・薬毒、³岩手医大・法医、⁴島津製作所、⁵名古屋大院・医学系研究科）

P-24

MALDI Spiral-TOFMSによる薬物の精密質量測定

○永見信正¹、東山律子²、高津貴正¹、影平俊介¹、渡邊誠也¹、松下 亨¹、村津晴司¹

（¹兵庫県警・科捜研、²大阪大・薬）

P-25

タンデムカラムを用いた規制薬物の迅速スクリーニング法の検討

○河村真帆¹、中本晃弘¹、奈女良 昭²、斉藤 剛³、八幡みどり¹

（¹広島県警・科捜研、²広島大院・法医、³東海大・救命救急）

P-26

食品に混入された有機リン系農薬の分解過程に関する研究

○大前義仁^{1,2}、北條正司²、西脇芳典³（¹高知県警・科捜研、²高知大・理、³高知大・教）

P-27

電気化学発光(ECL)を利用したメタンフェタミンのスクリーニング検査法の開発とECL反応機構の解析

○高橋史樹¹、新田 咲²、巽 広輔²、金 継業²、樋上照男²（¹信州大・環エネ研、²信州大・理）

P-28

PCP（フェンシクリジン）の密造事例

○長谷川正紀、加藤貴雄、吉田 守、堀 睦未（島根県警・科捜研）

P-29

新規LC-QTOF-MSを用いた薬物分析の検討

○須賀香屋子¹、安部寛子²、岩瀬博太郎^{2,3}

（¹エービー・サイエックス、²千葉大・法医、³東京大・法医）

P-30

固相抽出法-液体クロマトグラフィー/質量分析法による生体試料中パラコートおよびジクワットの分析

○鈴木雄亮¹、金子 毅¹、斉藤貢一²（¹千葉県警・科捜研、²星薬大・薬品分析化学）

P-31

新規吸着剤を用いたLC-MSによる生体試料中薬物分析

○滝埜昌彦¹、林田眞喜子²（¹アジレント・テクノロジー(株)、²日医大・法医）